

教科目名 都市計画 (City Planning)

学科名・学年 : 土木工学科 4年

単位数など : 必履修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教官 : 亀野辰三

授業の概要		
<p>近年, 都市計画は「まちづくりとは, 住むための良い環境をつくるもの」という環境重視の観点が強く要請されている。そこで, 本講義では, 前期には従来と同じく, 都市論や土地利用計画などを中心に解説するが, 特に, 近年導入が進んでいる環境重視の「地区計画」を詳述したい。後期には, 都市交通計画, 特に, 交通渋滞問題解決のための交通需要管理の考え方を後述したい。都市施設では, 都市計画道路, 公共交通機関, 駐車場, 公園緑地を取り上げる。市街地を面的に整備する手法としての土地区画整理事業, 市街地再開発事業をとりあげ, その仕組みや整備方法について解説する。</p> <p>また, 都市計画は, 現実の社会経済と密接な関連があり, 新聞は貴重な情報源でもある。そこで, 新聞を利用した都市計画教育も展開する予定である。</p>		
到達目標		大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (d1)
<p>都市計画では, 単なる都市計画や環境計画の知識を習得するだけではなく, 都市問題と環境ないしは環境問題との相互作用が理解できるようになることが目標となる。また, 新聞等における時事問題が容易に理解できるようになることも大切な目標である。</p>		
回	授 業 項 目	内 容
1, 2	1. 総論	総論として, 古代~近世~現代の都市に至る都市の歴史について学ぶ。
3	1.1 都市の歴史	同心円理論, 田園都市論等の代表的な都市構造論について理解する。
4	1.2 都市構造論	
5	1.3 都市の計画・調査	都市計画の調査や法体系を学び, 都市計画マスタープランが住民参加のもとで策定する仕組みについて理解する。
6	1.4 都市計画の法体系	
7	1.5 マスタープランと住民参加	
7	前期中間試験	
8	前期中間試験の解答と解説	自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する。
9	2. 土地利用計画	都市計画の基本となる土地利用計画について, 都市計画区域, 市街化区域と市街化調整区域について理解する。
10	2.1 都市計画区域・地域地区制度	都市計画を実現する手法として, 地域地区制度の概要を理解し, 特に重要な用途地域の役割を理解する。用途地域以外の「その他の地域地区」について学ぶ。
11	2.2 用途地域	
12	2.3 その他の地域地区	
13	2.4 地区計画	近年重要性が増している地区計画について, 実際に現地を見学して理解すると共に, 建築協定や緑化協定について学ぶ。
14	2.5 建築協定・緑化協定	
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する。
16	3. 都市交通計画	現代の都市交通問題について, 基礎的知識を学ぶ。
17	3.1 都市交通問題	近年, 交通渋滞を解決する手法として注目されている交通需要管理 (TDM) の原理と仕組みを学ぶ。また, 世界各地と日本の TDM の実践例を紹介したい。
18	3.2 都市交通の基礎的知識	
19	3.3 自動車交通の効率化	
20	4. 都市施設	都市計画の実現手段として, 都市施設の役割は重要である。ここでは, 概要, 都市計画道路, 鉄道・路面電車等の公共交通機関の役割について理解する。
21	4.1 概要	
22	4.2 都市計画道路	
23	4.3 公共交通機関	
24	4.4 駐車場	都市計画の実現手段として, 都市施設の役割は重要である。ここでは, 概要, 都市計画道路, 鉄道・路面電車等の公共交通機関の役割について理解する。
25	4.5 公園緑地	都市計画の実現手段として, 都市施設の役割は重要である。ここでは, 概要, 都市計画道路, 鉄道・路面電車等の公共交通機関の役割について理解する。
26	5. 市街地開発	自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する。
27	5.1 土地区画整理事業	自動車交通の終点は駐車場であるが, これまで駐車場の整備は遅れてきた。ここでは, その種類や計画方法について学ぶ。
28	5.2 市街地再開発事業	市街地開発事業として, 土地区画整理事業, 市街地再開発事業, 中心市街地活性化をとりあげ, その仕組みや整備方法について理解する。
29	5.3 中心市街地活性化	
29	後期中間試験	
30	後期中間試験の解答と解説	自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する。
履修上の注意	<p>(1) 授業は指定した教科書を用いながら, 章末の演習問題を積極的に活用する予定である。</p> <p>(2) 夏休みを利用して都市計画に関係する新聞記事を収集し, それを専用の大学ノート (A4版) に貼り付け, 提出してもらう (レポート点として評価する)。</p> <p>(3) 学生は日頃から新聞等に目を通し, 時事に関する最低限の常識は自ら身につけること。</p>	
教科書	石井・湯沢・亀野他共著, 『最新 都市計画第3版』, 森北出版	
参考図書	日本まちづくり協会編, 『地域の計画・まちづくり』, 技術書院	
関連科目	交通工学, 環境計画, 社会システム, 景観デザイン, 地域計画学	
評価方法	年4回の定期試験の単純平均 (70%) に, レポート (20点), 小テスト・課題の提出 (10%) により評価する。また, 授業態度により, 評価点からその20%を上限として減点する。	